

2015年4月17日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第20号

フラメンゴ、ラランジェイラス地区で路上強盗が多発

昨日、午後0時頃、フラメンゴ地区 Dois de Dezembro 通り（ラルゴドマシャード駅直近）において、自転車に乗った男1名が通行人に対して銃で脅しながら金品を強取し、逃走する事件がありました。

当館から、管轄の第二州軍警察本部に照会したところ、当事件は被害届が提出されておらず、軍警察では詳細を把握していませんが、4月に入ってから、フラメンゴ地区、ラランジェイラス地区、グロリア地区で自転車を使用した強盗が多発しているとのことです。

本年4月初旬には、ラランジェイラス地区のピニエロマシャード通り（グアナバラ宮殿から北方約300m地点）において、同じく自転車に乗った男が拳銃を利用して通行人を脅す事件が連続発生（2件既遂、1件未遂）しています。

州軍警察では、オートバイを利用した強盗事件の増加に歯止めを掛けるため、3月から二輪車に対する取り締まりを強化し、3月だけで300台のオートバイを押収しました。これにより、オートバイを利用した犯罪は減ったとのことですが、足を失った彼らが、移動の手段を自転車に変えた可能性もあります。

当館から、州軍警察に対して、路上強盗抑止対策を進めるよう要望したところ、今後、特にフラメンゴ地区における自転車に対する検問（職務質問）を強化するとのことです。

【当館からのアドバイス】

- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピール（急に振り向くのも有効）しましょう。
- 怪しい雰囲気を感じたら、ルートを変える、引き返すことも必要です。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。

